

会 議 錄

会議の名称	令和7年度所沢市自立支援協議会 第2回定例会
開催日時	令和7年10月29日(水) 14時00分~15時40分
開催場所	こどもと福祉の未来館 多目的室1・2号室
出席者の氏名	会長 坪井 弘直 委員 涌井 勝敬、真壁 肇、中川 美奈子、 豊田 淳一、倉部 陽司、田島 誠、伊東 晃子、 藤澤 知咲、高橋 育子、菅原 恵、南場 千恵、 海江 泉、坪井 健、大熊 有紀、内海 文江、 内野 誠、松本 弘、下平 美智代、 室田 由美 (代理出席:高橋 清子)
欠席者の氏名	委員 竹本 耕造、大門 竜司、横山 創、 安田 美代子、柚原 正子
議事	(1) 令和7年度上半期各部会活動報告について (2) 令和7年度上半期所沢市相談支援事業業務委託事業報告について (3) 日中サービス支援型共同生活援助の報告及び評価について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・(資料1) 令和7年度所沢市自立支援協議会 部会活動報告書(上半期) ・(資料2) 令和7年度所沢市相談支援事業 業務委託事業上半期報告 ・(資料3) 日中サービス支援型共同生活援助に係る 評価・報告シート ・(参考資料) 所沢市自立支援協議会 体系図 ・(参考資料) 日中サービス支援型共同生活援助のサービス 支援状況の報告・評価制度のイメージ
担当部課名	障害福祉課 田村主幹、新井主査、長谷川主査、 高安主査、井上主事 こども福祉課 藤澤課長、宮武副主幹、山本主査 健康管理課 一色課長、小野寺主幹、千葉主幹 (事務局) 福祉部障害福祉課 04-2998-9116
発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
	1 開会
	障害福祉課主幹 あいさつ

	会長 あいさつ
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の確認 ・所沢市自立支援協議会運営要綱の規定により、会議の議事進行を坪井会長に委任
会長	傍聴希望者数の確認(傍聴希望者なし)
	2 議事
	(1) 令和7年度上半期各部会活動報告について
委員	<p>こども部会令和7年度上半期活動報告 (内容は資料1のとおり) (成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も知的グループと情緒グループに分けて実施している。 ・上半期は知的グループで、児童の意向を汲み取った支援のあり方について理解を深めるというテーマに取り組んでいる。 ・本人の強み（ストレングス）を理解し、それを生かした支援についてや、支援計画を作成する際のガイドラインについて、グループワークを通して、各事業所で共有を図った。 ・7月8月に計4回、4つのエリア8事業所で放課後等デイサービス事業所見学会を実施した。 ・昨年度までは徒歩での移動だったが、今年度は車を使うことにより、暑さ対策と広範囲の見学が可能となった。 ・学校関係者から10校29名の参加があり、参加者からは、施設ごとの特徴を理解できたことで保護者に話しやすくなかった等の意見が出た。 ・マーガレットや教育センターからの参加もあり、今後の連携につながると考える。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス事業所見学会について、見学会の時間がもう少し欲しかったとの意見が出たため、次年度以降の課題となる。 ・参加する事業所が増えていくと、調整が難しくなっている現状があるが、最低限今年度の形式を維持していきたいと考える。 <p>(今後の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的グループの3回目の活動については、すでに10月に実施済み。事例を読み、それぞれの立場からの課題を抽出し、本人の意向を汲み取るためのよりよい改善策を話し合った。 ・11月からは情緒グループの取り組みを実施していく。講師については、当事者本人からのお話を伺おうと検討している。内容に関しては、これから打ち合わせをするが、自分の好きな部分や得意なこと、今はまっていること等を話していただこうと

	<p>考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後等ディサービス事業所見学会は来年度も実施予定。
委 員	<p>重症心身障害部会令和7年度上半期活動報告(内容は資料1のとおり)</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から毎月開催している。 昨年度までに抽出された課題の根拠を明確にするため、令和7年度は生活介護事業所と本人保護者向けのアンケートを作成している。 現段階ではアンケートの質問事項は抽出し終えて、アンケート文面の打ち込みや形作りに入っている。 今年度中に、アンケートを配って回収するところまでできればという形で動いている。 アンケート作成に関しては、初回は関わりのある全事業者の方に来ていただき、趣旨説明を行った。その後は、ご協力いただける事業所の方々に参加していただき、作業を進めている。 活動場所は例年未来館だったが、グーグルフォームを作成する中でネット環境が必要となったため、老人保健施設さんとめに場所を提供していただいている。 アンケートの作成にあたり、家族向けというところで、答えやすい聞き方を意識している。また、生活介護事業所向けアンケートと聞く質問が対になるように作成している。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初、10月末にはアンケートが終了している予定だったが、アンケートを作るのが初めてで、どうやって作成したらいいのかという点や、特別支援学校への協力依頼の中で、紙ベースではなくて、グーグルフォームでの作成を依頼されたこともあり、かなり作業が遅れている。 年度当初予定していた、見学会や講演会に関しては、手をつけるのが難しい状態である。講演会に関しては検討中。 <p>(今後の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、少し時間がかかるても、実のある結果が得られるよう引き続きアンケートを作成していく。 アンケートが形になった時点で、全体会を開き、参加者に内容を確認していただく予定。 同時に日高特別支援学校と所沢おおぞら特別支援学校の先生方にも確認をしていただく予定。

委 員	<p>こころ部会令和7年度上半期活動報告（内容は資料1のとおり） (成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、委員会と全体会に分けて実施。 ・委員会は、にも包括の協議体として、ほぼ毎月開催した。 ・上半期の委員会は、改めてにも包括が何を目指しているのか、所沢市の精神保健の取り組み現状について振り返る機会を設けた。 ・にも包括の対象となっているのは市民全体だが、その中でも、精神科病院に長期入院されている方の退院支援や退院後の支援が課題となっているところで、第3回委員会では事例を通して検討を行った。 ・事例検討によって解決策が出てはいないが、今ある問題を確認し、自分たちにできることは何か考える機会となった。 ・全体会では、交流を兼ねてグループワークで事業所紹介を行った。また、普段の支援で課題を感じていることについて、それぞれ話し合った。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他機関で連携する時に考え方の違いや、同じ方向を見て支援ができるていない問題がある。 ・年々、独居の家族の助けの無い方が増えている。公的サービスは増えても、縦割りだと誰がやるのかという問題がある。 <p>(今後の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後半は、頻回入院を取り上げ事例検討していく。 ・委員会や全体会を通して、各機関の取り組みや、お互いを知る機会が増えるといい。
委 員	<p>研修部会令和7年度上半期活動報告（内容は資料1のとおり） (成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様、各サービス事業所から選出していただき、企画チームをつくり活動している。 ・各事業所で抱えている課題などを出し合い、共通した課題に対応した研修を作ろうとした。 ・これまでの経験による考え方、価値観などが多様化している現状で、各事業所に勤務する職員の定着率をどうしたらあげられるか、魅力ある職場の作り方にはどうしたらいいかという課題を中心に話し合いを重ねた。 ・虐待防止の研修用動画について、今年度は、県で配信している動画を活用することとしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期は、昨年度に引き続き、交流型の研修を10月21日に未来館の体育館で開催。参加者は80名 ・各自が失敗してもそこから学び成長につなげ、仕事のやりがいを見出すこと、仕事へのモチベーションを高めることをテーマとし、事業所、世代や経験値の違う職員と交流する形で実施した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化社会、利用者も職員も多様化している中で、各現場で共通している課題は人材育成についてである。 また、自分の意見の伝え方も昨年同様課題となっている。 <p>(今後の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下半期は、話題になっている「カスハラ」をテーマにした研修を企画することになった。講師を依頼予定。 ・交流型の研修は、来年度も定例化していく。 ・虐待防止など、各事業所で必須となる取り組みの手助けとなるようなことも実施を検討する。
委 員	<p>相談支援部会令和7年度上半期活動報告（内容は資料1のとおり）</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体会では、日頃の業務の中で感じている疑問を質問し、行政からの回答をいただいた。 ・今年度は、各グループではなく委員会として、委託相談支援事業所、主任相談支援専門員、行政とで会議を進めている。各グループや各事業所で抱えている課題を確認しながら行っている。 ・グループスーパービジョン（2か月に1回実施）は、相談支援専門員が事例を出して、他の参加者からアイデアを得ることで、楽しく勉強できる時間となっている。 ・相談しゃべり場（2か月に1回実施）は、1人事業所の方の困りごと等を話す機会となっている。忙しい中ではあるが出席者が増え、貴重な情報交換の場となっている。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループスーパービジョンの事例提供者が少ない。参加者からはとても有意義な時間になっているという声があるが、事例提供に負担があるため、運営方法など検討していく必要がある。 <p>(今後の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に作成した計画相談マニュアルを改訂、配布予定。

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の報酬改定についても、各事業所へ配布予定。 ・資格取得後5年未満の相談支援専門員向けの初任者フォローアップ研修を今年度も実施予定。 ・複数事業所の協働モデルを希望する事業所へヒアリング等を行い、実施に向けて進めていく予定。
	質疑応答なし
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、第1回定例会で示された事業計画の通りに、下半期も進行していただくようにお願いする。
	(2)令和7年度上半期所沢市相談支援事業業務委託事業報告について
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は資料2のとおり ・全体の相談件数については、昨年度と比べ約77件の減少となっている。訪問、来所等の対面での相談件数が増加していることにより、電話での対応件数が減少したと考えられる。 ・主な委託相談に対する相談先は、ハローワークや社協の生活困窮、障害福祉課の虐待ケースへの対応であった。 ・主なケース内容は、家族の協力が得られず生活面での対応が必要なケース、保護者の急逝に伴う住まい先の確保、虐待対応から緊急短期利用にて遠方への住まい探し等に対応している。不安が強く様々な機関へ電話連絡しているケースへの対応や、1日に複数回の電話対応を行っているケースもある。 ・専門的な知識を要するケースについては、多職種連携や医療との連携が欠かせないケースがあげられる。 ・機能強化事業では、不定期で相談支援事業所の相談支援専門員へのスーパーバイズを行っている。また、さぼっとのケースを他相談事業所に同行してもらい、一緒にサービス利用に繋げ、支援や関係機関との連携強化や相談支援の質の維持向上の必要性等を確認している。 ・ピアカウンセリングについては、毎月1回開催している。仕事以外にも、将来のことや社会人として、自身の経験からアドバイスを行ったことで、相談者が前向きな行動ができていると考えられる。今後は現状を維持しながらも新たな相談者の検討も行っていくことが課題と考えている。 ・生活介護事業所連絡会議を7月8日（火）に開催。グループワークで各事業所の自主製品の紹介や事業所自慢等を共有した。また、事業所間交流会に向けて、アンケートを実施し、意見交換を行った。 ・障害児通所支援事業所連絡会議を9月9日（火）に開催。長期休みと放課後での支援内容について、本人の将来像を見据

	えて取り組んでいることやうまくいった支援について、多問題ケース等の課題に直面した時の解決方法やアイデアの共有方法についての3つのテーマでグループワークを行った。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は資料2のとおり ・昨年度と比べ全体、委託とも利用人数は大きく変わっていない。 ・相談内容は家族の高齢化に伴った生活支援や後見人制度利用の援助、触法者の地域での生活、母子家庭や不登校の児童、単身生活者、精神的不安定者への対応等様々である。 ・特に軽度知的障害、または軽度知的障害に加えて精神疾患の診断が出ている方への支援が多くなっている傾向にある。 ・事業所内において、相談支援専門員同士のコミュニケーションを積極的に図り、意見交換やアドバイスをお互いに行うことで担当が独りで抱え込まないように配慮している。また、専門機関や関係機関との連携を積極的に行うことで、本人の支援がより良くなるように取り組んでいる。 ・日々の対応の中で、電話口でカスハラ的言動を受けることがある。相談支援専門員を守るための対策として電話機に迷惑電話防止のアナウンスと録音機を取り付けた。しかし、カスハラ的言動はサービス提供事業所へ向けられている事も多いため相談支援専門員が間に入り関係を取り持つが、対応に苦慮することが多い。 ・障害支援区分の認定調査の依頼があった。所沢市では区分認定調査を行える人数が少ないという声を聞いている。これは地域課題なのではないかと考える。 ・ぷらっとマーケットの未来館ガレリア販売については、自立支援協議会を離れて、ゆくゆくは事業所間で動いて頂けるようバックアップと集約を行った。前年度に比べて売上が落ちている。いつも同じなので安心するが、たまには違うものがいいという声が上がっている。 ・就労継続支援事業所連絡会議を9月に開催した。テーマは利用者のモチベーション維持・向上についてで、2事業所から実践報告を行って頂いた。その後、同テーマでグループワークを行った。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は資料2のとおり ・利用者は9割近くが精神障害の方である。 ・前年との比較では、全体と委託の利用者数は減少傾向であり、

	<p>全体の相談件数もそれに比例して減少傾向にあるが、委託の相談件数については前年とほぼ同等であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期入院者で病院スタッフと連携して退院支援を行う必要がある。地域生活であっても病状が不安定で時にクライシス対応を要するなど、ニーズは多岐に渡る。 ・委託相談の利用者には様々なニーズがあり、ときにクライシス対応もあるため、本来はチームで関わる方がよいと考えられるが、今のところは関係機関との密な連携で対応している。 ・ピアサポートスタッフが常駐していることであり、共に利用者の退院支援やクライシス対応のために動く場合がある。 ・今後も、ピアサポートスタッフとのチーム支援を適用していくとよいと考えている。 <p>・地域活動支援センター連絡会議を10月8日に開催した。地域活動支援センターの未来というテーマで、パネルディスカッション形式で行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法定サービスにつながる前の居場所や相談場所として機能しており、柔軟な支援が可能である一方、利用者が固定されると新規者がつながりにくいという課題も上がった。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談件数は資料2のとおり ・委託相談については、電話での相談がかなり増えている。他県からの電話も多い。 ・入口の相談や、継続して困りごとを聞きつつ他機関と連携しながら関わるケースなど様々である。 ・市内に新しく開設した相談支援事業所が1つあるが、昨年と比べても大きな変化はない。 ・各事業所で対応している件数は年々増えており、障害福祉サービス利用者は今後も増加していくと思われるため、引き続き相談支援専門員の増員や育成をしていく必要がある。 ・昨年度より検討を重ねている複数の相談支援事業所による協働モデルについては、次年度に実施できるよう進めている。 ・行政への説明や、事業所へのアンケートを行った。今後は、希望する事業所にヒアリングを行う。 ・協働モデルを実施することにより、所沢市の相談支援を強固なものとして、望まないセルフプランの解消につなげたい。 ・精神科病院からの地域移行の相談および、退院先としてグループホームを希望することも一定数ある状況。

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待の対応については、行政が主となって動いている。通報後の訪問調査などは減っているが、昨年度同様に虐待通報は来ている。 ・虐待防止の取り組みとして、障害者福祉サービスの事業所へ出向く出前講座などで、周知啓発に力を入れていく必要がある。 ・上半期の緊急的な相談支援は1件。同居家族の緊急入院に対し障害者の緊急短期入所の調整や支援を行った。 ・第1回グループホーム等職員連絡会議を令和7年7月1日(火)に開催した。義務化された地域連携推進会議の実施状況の確認を行った。すでに実施した事業所の話や、これから実施予定の事業所から、検討している内容について話し合い、各事業所の取り組みを知ることができた。地域に開かれた運営を意識する良いきっかけとなった。
	質疑応答・意見交換
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・障害支援区分の認定調査について、所沢市民の場合は市の職員がすべて調査を行っているのか、また、今後はどういう方向性なのか。 ・他市の場合は、委託相談に依頼をしていくのか教えていただきたい。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・障害支援区分の認定調査について、所沢市で支給決定している方に関しては、市役所の職員が行っている。 ・他市で支給決定している方に関しては、委託相談に依頼している。 ・以前より認定調査員が減っているが、原因についてはまだつかめていない。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も所沢市民に関しては、継続してやっていくのか。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・継続予定。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ・報告の中で、困難さを抱えているケースというのが結構出てきたが、一覧表にして百科事典のようにしておくと、解決方法等が見えてくるので良いと考える。 ・時間がなくてやれないかもしれないが、まとめると具体的な報告書にしていただけすると、10年くらいでデータが蓄積され、困った時に助かるのではないかと思う。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・検討させていただく。
	休憩

	(3)日中サービス支援型共同生活援助の報告及び評価について
	※個人情報を取り扱うため、非公開
	事務局より連絡事項
事務局	・今年度の定例会は、2回行ったので終了した。 なお、各部会は年度末まで開催があるので、引き続きよろしく お願いしたい。
会長	今日の議事を終了とする。
	3 閉会
副会長	副会長あいさつ